

## 高齢者虐待とは？ 様々な形態の虐待があります

### 身体的虐待



- 殴る、蹴る、たたく
- ベッドにしばりつける など

### 心理的虐待



- 排泄の失敗を嘲笑する、それを人前で話すなどにより、高齢者に恥をかかせる
- 怒鳴る、ののしる、悪口を言う
- 侮辱を込めて、子供のように扱う など

### 性的虐待



- 排泄の失敗に対して懲罰的に下半身を裸にして放置する
- キス・性器への接触、セックスを強要するなど

### 経済的虐待



- 日常生活に必要なお金を渡さない、使わせない
- 年金や預貯金を無断で使用する など

### 介護・世話の放棄・放任



- 入浴させないために異臭がする
- 必要な医療や介護サービスの利用を制限する など

## 気づかずに「虐待」をしてしまうことも

虐待をしている家族には、「虐待している」という自覚がない場合が多く、高齢者のためと思ってやっていることが、虐待につながることもあります。また本人自身も虐待を自覚していない場合があります。当事者の自覚の有無に関わらず、高齢者への不適切な対応は【虐待】です。



- ×認知症により徘徊するので、部屋から出さないようにしている
- ×経済的に苦しいので病院に連れて行くことを制限している
- ×良いことと悪いことをわかってもらうために、立たせたりしている

## 自覚がない場合も少なくありません

「高齢者虐待」は、虐待をしている人に自覚があるとは限りません。高齢者が危険な状態におちいっていても、虐待の自覚がないことが多いのも特徴です。

### 家族の気持ち

夜おもらししないように、水分は控えておこう。



### 本人の状況

脱水症状を起こし一刻の猶予も許さない状況

## 介護の負担を抱えこんでいませんか？



介護をしている人が長年の介護に疲れきって、追い詰められて虐待が発生してしまうことがあります。また介護に一生懸命取り組むあまり、怒鳴ったり、手をあげてしまうことも少なくありません。

そして、これまでの人間関係や経済的な困窮、相談者が身近にいないなどのさまざまな問題があり、複雑な事情を抱えていることもあります。

周囲の人が声をかけ、相談相手になるなど、虐待をしている人を加害者と決めつけず、支援する方法を考えることが大切です。

## 虐待が起こらない地域づくり

ご近所で気になる高齢者や介護をしている方がいたら、見守りや声かけをお願いします。困っている高齢者や家族の方には、高齢者支援センター等への相談を勧めましょう。高齢者や介護している人たちが孤立しないよう地域の見守りや声かけ、仲間づくりが虐待の予防につながります。



### 見守り

昼間でも雨戸が閉まっている。夜になっても部屋の明かりが付かない。  
→一声かけてみましょう

### 日常的な声かけ

日頃から地域であいさつを交わしましょう！



### 地域で仲間づくり

介護の知識や方法を教えあう、愚痴を言える仲間をもちましょう！